第三者評価結果入力シート（児童養護施設）

種別	児童養護施設

①第三者評価機関名

一般社団法人アスラサポート

②施設名等

名　　称：	あゆみ学園
施設長氏名：	丑久保　恒行
定　　員：	54名
所在地(都道府県)：	埼玉県

③理念・基本方針

基本理念
～安心して自分らしく歩む未来に繋いでいく～
あゆみ学園は、子どもたち一人ひとりを大切に守り、寄り添い、安心して暮らせる環境を提供します。日々の生活の中で「身を美しく整える・挨拶の励行・履き物を揃える」を大切にし、基本的な生活習慣と社会性を身につけることを通して自立に向かう力を育みます。ひとつひとつの積み重ねが自他を大切にする心と人と繋がる糧になり、全てのこども達が社会の一員として自分らしく未来へ羽ばたけるよう支えていきます。

援助目的
Ⅰ　家庭的で温かい居場所づくり
Ⅱ　笑顔溢れる施設づくり
Ⅲ　地域に根差したコミュニティづくり

援助方針
1　個別性の尊重
　こどもひとりひとりの背景や思いに寄り添い、個別的支援を行います。
2　意見表明の保障
　意見や意思を丁寧に聴き、生活や進路等における選択の機会を保障します。
3　安定した生活環境の提供
　継続的で一貫性のある関わりを通じ、安心できる人間関係と生活基盤を築きます。
4　自立に向けた支援の充実
　学習支援、生活力の向上をサポートし、段階的に自立に繋がる力を育みます。
5　家庭及び地域との連携
　家庭支援および地域社会との協働を重視し、社会との繋がりを大切にします。

④施設の特徴的な取組

・各専門分野別研修を実施し、責務理解と専門的知識・技術の研鑽を目指している。
・スーパーバイザーによる個人面談やケース検討を行い、様々な視点からのアドバイスや、相談できる環境を作ることで職員のレベルアップに繋げ、支援の実行度を高めている。
・園内派遣研修(配属ユニット間)を通じて、ユニット間の相互交流を深め透明性の確保に繋げている。
・若手職員が挑戦できる環境を創出し、ただ挑戦させるだけでなく、手厚いサポート体制を施設全体で築き、支援レベルの底上げを行っている。
・地域の方々との交流や地域活動への参加を通して、施設としての認知度を高め、地域に根付いた施設運営を行っており、地域支援の間口を広げるよう努めている。
・SNSやホームページなどを活用し、広報力・人材確保の強化に繋げている。

⑤第三者評価の受審状況

評価実施期間（ア）契約日（開始日）	2026/5/7
評価実施期間（イ）評価結果確定日	2026/8/21
前回の受審時期（評価結果確定年度）	令和5年度（和暦）

⑥総評

＜特に評価の高い点＞
1. 長期目標の実現　（環境を整える）
法人は長きに渡って地域の児童福祉を支え、本年5月にこどもの家庭的養護のため施設全体をユニットに改装しきめ細かく家庭的な支援を行っている
施設を全面的に改装しこどもは自室を持ち職員は食堂や休憩室で休息が取れ大型の洗濯乾燥機の導入などで負担を軽減するなど長期目標のであった環境面を整えた
明るく広く清潔な施設はこどもにとって安定した過ごしやすい生活の土台となっている

2. 主体的な職員
職員はこどもの生い立ちや要望・今後の希望など十分に把握し発達や理解度に合わせてきめ細かく支援を行っている
ユニット化した現在、職員はホームごとにこどもたちと対峙しきめ細かく密に支援している
職員は共に料理し食事をするなど家庭のような過ごし方ができるよう日々支援の中で考えホーム内で共有しこどもたちの成長を一番の喜びとしている
心理士や調理担当はホームに出向きこどもとホーム職員と過ごし職員のフォローや助言など行い担当業務にも活かしている
それぞれの職員は主体的に考えこどものために支援している姿がある
また自ら勉強会を開催する職員は施設全体のスキルの共有をすべく定例で行っている
まだまだ参加者は少ないが勉強会の意図が伝わり参加意識が高まりより良い施設運営がなされることに期待します

3. 小規模ホームの自立に向けた支援
ホームを卒園して自立できるよう幼いころから生活・経済・学習・社会性の自立を念頭に職員は個々のこどもの特徴を理解したうえで支援している
中学生頃にはこどももできることが多くなっていることを見ると職員は生活の中でスモールステップで支援してきたことが伺われる
自立に向けて小さな積み重ねを根気強く長きに渡り支援している

4. 職員を支える体制
施設では外部スーパーバイザーを2名配置しこどもの支援やこどもへの関わりについて相談ができ助言を受ける機会を作っている
一人で悩み続けることなく専門職からの助言やヒントを受け迷わずに支援できる仕組みを法人は用意している
また心理担当職員が2名配置していることも職員が日頃から相談できる体制を整えている

〈今後期待したい点〉
本年度は全面ユニット化が実現し新たな体制のもとで施設運営が始まったところです
入所しているこども一人ひとりへの日々の養育・支援は職員の頑張りに頼るところも少なくありません
また家庭支援専門相談員やアフターケアを専任で担う職員が配置されていない中で職員が兼務しながら多くの役割を担っている状況があります
環境が整った今、長く安定した施設運営のためにも業務の標準化・職員の育成と目標の共有・人材定着などPDCAに沿って施設運営の充実を図られことを期待します

⑦第三者評価結果に対する施設のコメント

本年度、全面ユニット化に移行し、より家庭的な環境整備という長らくの目標を達成することができました。そうした中で、これまでの取り組みを評価していただいた点は継続して洗練させていくものだと実感しております。
しかしながら、ユニット化移行・組織運営において多くの課題も見えてきました。良い評価だけに甘んじることなく、いかに課題を修正・改善していくのか、今後は職員全体で共有し意識の統一を図っていきたいと考えております。場当たり的対応とならず、中・長期視点を意識した日々の積み重ねが、適切な支援を生み出すと考えます。職員の入れ替わりが多い中で、特に法人理念の浸透、運営目標の共有は必須であり、職員との対話を重ね、法人・施設・職員が一体となるような運営を目指していきます。
頂戴したアドバイスを参考にしながら、子ども達にとってより良い環境となるよう、日々精進してまいります。職員ひとり一人がそれぞれの思いを持ち、子どもと関わるその姿勢をサポートするのも法人の役割であり、すべての職員が団結しそれぞれが納得のいく仕事ができるよう、継続して検討・実践していく所存です。

（別紙）

第三者評価結果（児童養護施設）

共通評価基準（45項目）Ⅰ　養育・支援の基本方針と組織

１　理念・基本方針

（１）　理念、基本方針が確立・周知されている。	第三者評価結果
①　1　理念、基本方針が明文化され周知が図られている。	a

【コメント】

①理念・援助目的・援助方針は事業計画やパンフレット・ホームページに掲載し周知に努めている
②職員へは年度初めの職員会議で周知を行い、事業計画委員会が新任職員研修や調理担当職員研修などの機会にさらに理解を深められるよう努めている
③入所見学のこどもや保護者・実習生・ボランティア・関係者には訪問時に資料を用いて説明し理解に努めている

２　経営状況の把握

（１）　経営環境の変化等に適切に対応している。	第三者評価結果
①　2　施設経営をとりまく環境と経営状況が的確に把握・分析されている。	a

【コメント】

①法人は行政・教育機関・関係機関などから児童福祉全体の動向や課題・支援のニーズなど把握に努め、得られた情報を施設の現状と照らし合わせ、今後必要となる支援や施設運営の方向性を検討している
②施設長は各関係機関の要職を務め参画し自施設にとどまらず県内の児童福祉全体の動向や課題を幅広く把握している

②　3　経営課題を明確にし、具体的な取組を進めている。	b

【コメント】

①法人は家庭的な養育環境を整えるため本年度すべてのユニットへの移行を実現している
②全ユニットへの移行にあたって事前に課題を抽出し解決に向けた取組を進め、現在は移行後に見えてきた新たな課題を整理し改善に向け計画を立てている最中である
③事業計画委員会は日々の業務や支援の中から課題を抽出し具体的な改善策の提案につなげるよう努めている
④求められている地域の役割や法人の理念など共有し職員と共に施設運営の充実を図ることを期待します

３　事業計画の策定

（１）　中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。	第三者評価結果
①　4　中・長期的なビジョンを明確にした計画が策定されている。	a

【コメント】

①6月に中・長期計画を策定している
中期計画は3～5年・長期計画1は0年を策定し今後の方向性を明文化している
②中期計画では高機能・多機能な施設への転換期をテーマとし支援機能の高度化・組織人材の基盤づくり・DXの推進・地域機能の拡張を目指すべき項目として挙げている
長期計画では地域における社会的養護の中核拠点化をテーマとし施設機能の転換・地域ネットワークの中心化・個別化支援の高度化・人材の専門性強化を目指すべき項目として挙げている
それぞれの計画で実施内容をさらに細分化し中・長期的なビジョンの実現に向けた取組を具体的に示している

②	5　中・長期計画を踏まえた単年度の計画が策定されている。	a

【コメント】

①事業計画委員会が単年度の事業計画を策定している
②委員会メンバーは施設長等から施設運営の方向性を聞き取るほか社会情勢・児童養護施設に求められる役割・施設の現状などを踏まえて課題を抽出している
また中期の目標から本年度の取組を捉え現場の課題を丁寧に整理し改善に向けた具体的な計画を策定している
③事業計画は概要・理念・援助目的・援助方針・組織図・職員体制・養育・調理・心理の各分野における本年度の目標と方針・会議体系・業務分掌・防災組織・計画など施設運営に必要な事項が幅広く盛り込まれている
さらに高機能化・多機能化の土台づくりを本年度の目標に掲げ実現に向けた8つの目標・具体的な取組内容・実施時期を明確にしている

（２）　事業計画が適切に策定されている。

①	6　事業計画の策定と実施状況の把握や評価・見直しが組織的に行われ、職員が理解している。	a

【コメント】

①事業計画委員会は年間を通して実施状況を確認し進捗が十分でない取組や新たに生じた課題について検討し内容の見直しに努めている
委員会は現場の状況を丁寧に捉え、改善に必要な内容を研修に取り入れるなど計画の実効性を主体的に担っている
②事業計画委員会は年度初めの職員会議・新任職員研修・調理担当職員研修など機会あるごとに職員に対し事業計画の理解に努めている
③年度末に会議で重点目標について状況の振返りを行っている

②	7　事業計画は、こどもや保護者等に周知され、理解を促している。	b

【コメント】

①入所時にこどもや保護者へ事業計画の主な取組内容を説明し施設の方針や生活について理解を得られるよう努めている
またこどもの状況や理解度にあわせてユニット内でこどもにわかりやすく伝えている
②今後は毎年更新される事業計画をこどもや保護者に伝え施設理解につながるよう期待します

４　養育・支援の質の向上への組織的・計画的な取組

（１）　質の向上に向けた取組が組織的・計画的に行われている。		第三者評価結果
①	8　養育・支援の質の向上に向けた取組が組織的に行われ、機能している。	a

【コメント】

①3年に1回第三者評価を受審し養育・支援の質の向上に向けた課題を把握するとともに改善努めている
②外部スーパーバイザー2名を配置し、ケース検討や職員面談を実施している
職員は専門的な助言を受けこどもへの支援や自らの関わり方を振り返り養育・支援の質の向上に努めている
③月1回の全体研修は専門的な知識や技術の習得に加え様々な職員が互いの役割や取組への理解を深められるよう努めている
④本園と小規模施設間で職員の派遣研修を実施している
職員は他のホームに行くことにより自分のホームを振り返ることができている
また他のホームの良い取組を支援に活かすよう努めている
⑤職員は年2回の自己評価や権利擁護チェックリストを活用し自らの養育・支援を振り返るよう努めている
振り返りを通して課題や改善点を確認し日々の支援の見直しにつなげている

②	9　評価結果にもとづき組織として取り組むべき課題を明確にし、計画的な改善策を実施している。	b

【コメント】

①各会議や委員会で把握した課題は会議で協議した上で事業計画委員会や人材育成委員会が整理している
組織として取り組む課題を事業計画の目標に位置づけ具体的な取組や実施時期を定めて改善に努めている
②人材育成委員会は半年に1回職員アンケートを実施している
集計数値だけでなくその要因や背景についても考察している
③外部・全体・新任・中堅・調理担当職員研修などを実施している
研修後はアンケートを実施しその後の研修内容や職員への助言に反映している
④職員自ら月1回、2時間の自主勉強会を主催し日々の養育・支援や施設運営の中で感じた課題を持ち寄り互いの考えや経験を伝え合い施設全体がボトムアップするよう努めている
⑤課題の共有はバラツキが見受けられます
さらに質の向上を図るべく施設全体で共有することを期待します

Ⅱ　施設の運営管理

1　施設長の責任とリーダーシップ

（１）　施設長の責任が明確にされている。		第三者評価結果
①	10　施設長は、自らの役割と責任を職員に対して表明し理解を図っている。	b

【コメント】

①施設長の役割と責任は事業計画や防災計画等に明記されている
事故や災害の発生時における指揮命令系統と施設長不在時の権限委任について定め職員への周知に努めている
②施設長は公職や関係団体での活動を担い地域・行政・関係機関との連携を図り児童福祉の課題を発信し施設運営を支える役割を果たしている
③施設長が担っている地域の役割・目的・今後の児童福祉への理念など職員と共有し施設全体で支援に取り組まれるよう期待します

②	11　遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行っている。	a

【コメント】

①施設長は関係機関等で開催する研修会や勉強会に積極的に参加し最新の情報収集と法令改正や制度の動向を幅広く把握するよう努めている
情報は施設運営と照らし合わせ法令等に沿った適切な運営を行っている
②施設長は「児童養護施設運営ハンドブック」の編集委員として参画し児童養護施設の運営に関わる法令や制度、実務上の留意点について極めている

（２）　施設長のリーダーシップが発揮されている。		
①	12　養育・支援の質の向上に意欲をもちその取組に指導力を発揮している。	a

【コメント】

①実質養育・支援の質の向上は各委員会・リーダー職員が担い各ユニットにおいてこどもの養育・支援にあたっている
②施設長は各会議や委員会からの報告を受け養育・支援の実施状況や課題の把握・分析に努めている
こどもの声を受け止め寄り添うことを最も大切にし家庭的で温かい環境を整えるため長年取り組んできた全ユニット化を完成させた
また、こどもを支える職員が養育・支援に力を注げるよう休憩室や職員専用食堂などの職場環境も整えるなど努めている
②企業ボランティア・地域・行政・関係機関との連携体制を整え、こどもの経験や支援の機会を広げるなど養育・支援の質の向上に向けた環境づくりに努めている
また連休などにはこどもと外食に出かけ普段とは異なる場でこどもの声を直接聞くよう努めている

※当施設においては養育・支援の質の向上はリーダー職が担っているため施設長は該当しない

②	13　経営の改善や業務の実効性を高める取組に指導力を発揮している。	a

【コメント】

①施設長は職員がこどもの養育・支援に力を注げるよう本年度、休憩室や職員専用食堂を整備し週休2日制（月9日公休）制度を整え職員の働きやすい環境づくりに努めている
②経営や業務上の課題はリーダー職と共に課題の抽出や改善策の検討を行いそれぞれが力を発揮できる体制を整えている
検討した内容を事業計画に反映し具体的な取組として実施するよう努めている
③職員が意見や改善案を提案しやすく施設全体で目標の達成に取り組めるよう委員会体系の整理・会議の役割に応じた細分化・職種別研修の充実・外部スーパーバイザーの活用など課題を実際の改善につなげる体制を整えている
④太陽光発電設備や蓄電池を設置し経費削減などに努めている
また本年度ICTを本格稼働させ記録や情報共有の徹底や負担軽減に努めている

２　福祉人材の確保・育成

（１）　福祉人材の確保・育成計画、人事管理の体制が整備されている。

		第三者評価結果
①	14　必要な福祉人材の確保・定着等に関する具体的な計画が確立し、取組が実施されている。	b

【コメント】

①本年度の事業計画では人材確保・育成を目標の一つに掲げ「実習生やボランティア、新任職員を大切にする」ことを明示している
②人材確保に向けて養成校で継続して講師を務め児童養護施設で働く魅力を伝えるよう努めている
関心を持った学生には個別の施設見学を案内するほか、児童福祉施設合同説明会への参加、ホームページへの職員メッセージやインタビューの掲載など実際に働く職員の姿が伝わる情報発信に努めている
③職員の定着を施設の課題として会議・勉強会・職員派遣研修・親睦会などを実施、ユニットや職種の垣根を越えて相談し支え合える関係づくりに努めている
新任職員に複数の職員が関わるチーム指導体制も整えている
④定年延長・永年勤続表彰制度・退職金制度を規程に定めている
また休業からの職場復帰プログラムを整備し育児休業から復帰する職員には家庭の状況に応じて休暇を取得しやすい事務部門への一時的な配置転換を提案するなど仕事と家庭の両立を支えようと努めている
⑤今後は計画の職員への共有や見直し・課題抽出などされることを期待します

②	15　総合的な人事管理が行われている。	b

【コメント】

①人材育成計画に職員像として具体的事項を挙げている
事業計画に新任職員・中堅職員・ベテラン職員など各段階の職員に求める姿や指標を明示し職員が自らの役割や今後めざす姿を確認できるよう努めている
②外部スーパーバイザーによる職員面談を実施し職員が業務上の悩みや課題を相談し自らの関わりを振り返る機会を設けている
③今後は総合的な人事管理に関する基準を明文化し職員と共有されることを期待します

（２）　職員の就業状況に配慮がなされている。

①	16　職員の就業状況や意向を把握し、働きやすい職場づくりに取り組んでいる。	b

【コメント】

①外部スーパーバイザー2名による職員面談を実施し職員の意向・業務上の悩み・課題の把握に努めている
また委員会や会議を活用し職員が課題を一人で抱え込まず相談や提案ができる体制を整えている
②職員が働きやすいよう休憩室や職員専用食堂を整備しまた4週8休から週休2日へ移行した
③会議・勉強会・職員派遣研修・親睦会などを実施しユニットや職種の垣根を越えて相談し相互に支え合える関係づくりに努めている
④職場復帰プログラムを整備し育児休業から復帰する職員には家庭の状況に応じて事務部門への一時的な配属を提案するなど仕事と家庭の両立を支えようと努めている
⑤本年度施設は完全ユニット化し施設も建て替えられ休憩場所も確保され業務はしやすくなったが定着の観点からも職員と協働し魅力ある職場作りに期待します

（３）　職員の質の向上に向けた体制が確立されている。

①	17　職員一人ひとりの育成に向けた取組を行っている。	b

【コメント】

①ユニットリーダーは日頃の養育・支援の様子から職員の課題を把握し実際の業務の中で助言や指導を行うなどOJTによる育成に努めている
②新任職員・中堅職員・調理担当職員など職種や階層に応じた研修を実施し、それぞれに必要な知識や技術を身につけられるよう努めている
③今後は職員と施設で一人ひとりの目標と具体的な取組を共に定め進捗状況を確認するなど育成の仕組みを整えることを期待します

②	18　職員の教育・研修に関する基本方針や計画が策定され、教育・研修が実施されている。	a

【コメント】

①毎年度人材育成計画を策定し施設の人材育成上の課題・職員に求める専門性・職員像を明示している
②人材育成計画は人材育成委員会が策定している
全体・新任・中堅・調理担当職員など職種や階層に応じた研修を計画的に実施し職員がそれぞれに必要な知識や技術を身につけられるよう努めている
③人材育成委員会や部門別研修サポート担当者が中心となり現場の状況や職員の課題を研修内容に反映するよう努めている
月1回の全体研修は専門的な知識や技術に加え様々な職員が相互理解を深める内容も取り入れている
④各研修後にはアンケート結果を分析し職員の受け止めや新たな課題を確認している
結果は次の研修の見直しや職員への助言に反映している

③	19　職員一人ひとりの教育・研修等の機会が確保されている。	a

【コメント】

①施設内研修や勉強会は年間を通して計画的に参加できるよう年度当初に開催日を設定している
あらかじめ日程を固定することで職員が業務との調整を行いやすくし勤務体制にも研修参加を組み込むよう努めている
②外部研修の案内は職員に周知し職員の経験や担当業務に応じて参加の機会を確保している
参加した職員は研修内容をレポートにまとめ施設内に伝えることで得られた知識や実践例を養育・支援に取り入れられるよう努めている

（４）　実習生等の養育・支援に関わる専門職の研修・育成が適切に行われている。

①	20　実習生等の養育・支援に関わる専門職の研修・育成について体制を整備し、積極的な取組をしている。	a

【コメント】

①実習生受入れマニュアルを整備し実習の目的や実習生を受け入れる職員の思いも載せている
オリエンテーションから実習終了時の反省会まで各段階の実施事項・留意点・具体的な進め方を詳細に示し実習生が各自のテーマを深めながら実習に取り組めるよう努めている
②実習開始時には実習生の目標や課題を職員と共有し実習の進め方を確認している
実習中も目標に沿って経験を重ねられるよう助言し、振り返りを行いながら理解を深められるよう努めている
③実習の課程に応じたプログラム例を示し実習生が目的を持って養育・支援を経験できるよう努めている
施設での実践や職員の考えを伝え将来の児童福祉を担う人材の育成に積極的に取り組んでいる

３　運営の透明性の確保

（１）　運営の透明性を確保するための取組が行われている。	第三者評価結果
①　21　運営の透明性を確保するための情報公開が行われている。	a

【コメント】

①ホームページを活用し理念や基本方針、施設での生活や取組の様子を発信している
また定款・役員・評議員名簿・第三者評価結果・入札に関する公告や結果など掲載し法人や施設の運営状況を広く確認できるようにしている
②SNSを活用しこどもの日常の一コマや行事、職員の取組や思いを発信し施設での生活や養育・支援の様子を伝え施設理解していただけるよう努めている
また関係機関には機関紙・記念誌・文集などを送付している

②　22　公正かつ透明性の高い適正な経営・運営のための取組が行われている。	a

【コメント】

①経理規程に取引や会計処理の手続き、担当者の権限と責任を詳細に定めている
職員は規程に沿って業務を行い適正な経理事務と施設運営に努めている
②外部監査を実施し経理や施設運営の状況について専門的な確認を受けている
必要に応じて助言を受け適正な経営・運営に努めている

４　地域との交流、地域貢献

（１）　地域との関係が適切に確保されている。	第三者評価結果
①　23　こどもと地域との交流を広げるための取組を行っている。	a

【コメント】

①事業計画に地域との関わりについて明示し取り組んでいる
②毎年地域の方を学園祭に招待しこどもがダンスなど日頃の練習の成果を発表している
発表後には地域の方から感想や励ましの言葉をかけてもらいこどもが直接言葉を交わす機会となっている
こども自身が地域の方に見守られ応援されていることを感じ地域とのつながりを実感できる交流の場となっている
③青年会議所の協力による仕事体験を実施しこどもが地域の大人と関わりさまざまな仕事に触れる機会を設けている
④こどもは野球大会や市内の児童養護施設とのスポーツ大会などに参加し地域の人々や他施設のこどもと交流する機会を持っている
⑤近隣の方から米や野菜を分けてもらうほか施設の修繕・庭の整備・引っ越し・重い荷物の移動など継続的な協力を得ている
職員も学校のPTA活動や地域活動に積極的に参加し施設やこどもへの理解を深めてもらえるよう努めている

②　24　ボランティア等の受入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	a

【コメント】

①ボランティアの受入れに必要な書面を準備している
活動前に確認すべき内容を明示しボランティアが施設の方針を理解した上で活動できるよう努めている
②ボランティア受入れ担当者は受入れ前に活動内容やこどもと関わる際の注意事項・配慮事項を伝えている

（２）　関係機関との連携が確保されている。

①	25　施設として必要な社会資源を明確にし、関係機関等との連携が適切に行われている。	a

【コメント】

①児童相談所や行政と定期的に連絡を取りこどもの支援方針や様子・家庭との関係について情報を共有している
その上で何が最善か将来に向けて何が必要かを共に検討・役割分担しその時々の状況に応じた支援に努めている
②幼稚園・小中学校・高等学校とはこどもの生活や学習の状況・学校での様子を共有している
施設と学校それぞれの役割を確認し相互理解のもとこどもが安心して学校生活を送れるよう連携に努めている
③近隣の大学・社会福祉協議会・青年会議所などとそれぞれの専門性や活動を活かした取組を進めている
例えば
青年会議所の仕事体験はこどもが地域の大人や仕事に触れる機会にしている
また関係機関から講師依頼があった際は施設の取組やこどもを取り巻く課題を地域に伝えるなど地域の児童福祉を支えている

（３）　地域の福祉向上のための取組を行っている。

①	26　地域の福祉ニーズ等を把握するための取組が行われている。	a

【コメント】

①児童相談所や行政との連携、各種関係団体の活動へ参加し地域の福祉課題や求められている支援について情報を得ると共に関係機関との連携に努めている
②職員は自治会・学校・PTAなどの地域活動への参加やショートステイ・トワイライトステイ利用者の声から地域の福祉ニーズの把握に努めている
③施設の駐車場の一部を地域住民専用のごみ集積所に提供している
また学園祭に近隣の方を招待するなどコミュニケーション作りに努めている

②	27　地域の福祉ニーズ等にもとづく公益的な事業・活動が行われている。	a

【コメント】

①一時保護・ショートステイ・トワイライトステイを実施し近隣行政からも受入れを行っている
②生活困窮者に対する相談支援事業を実施し必要な支援につなげるよう努めている
③自治会と災害時相互援助協定を締結し災害発生時には施設の敷地や建物を地域に提供できる体制を整えている
備蓄倉庫には地域住民が使用できる簡易ブランケットや食料なども備えている
また太陽光発電設備と蓄電池を導入し災害による停電時には地域住民へ電力を供給できる仕組みを整えている

Ⅲ　適切な養育・支援の実施

１　こども本位の養育・支援

（１）　こどもを尊重する姿勢が明示されている。		第三者評価結果
①	28　こどもを尊重した養育・支援の実施について共通の理解をもつための取組を行っている。	a

【コメント】

①事業計画に「児童の権利に関する条約」「こども基本法」「埼玉県こども・若者計画」「施設倫理綱領」「全国児童養護施設協議会の研修体系」などを参考に「こどもを尊重した支援を行うために職員が身につける専門的な知識やスキルに関する8つの領域」を掲載している
年度初めには全職員で内容を確認しこどもを尊重した養育・支援について共通理解をもてるよう努めている
②職員は権利擁護に関する自己評価を年2回行いこどもへの言葉かけや関わり方を振り返っている
評価結果をもとに自らの課題や改善すべき点を確認し日々の養育・支援の見直しにつなげるよう努めている
③児童相談所とこどもの意向や家庭との関係・今後の生活について情報を共有した上で支援方針を共に検討し支援に努めている

②	29　こどものプライバシー保護に配慮した養育・支援が行われている。	a

【コメント】

①個人情報保護規程や権利擁護ガイドラインを整備し職員が共通した認識のもとで養育・支援を行えるよう努めている
②本年5月全面ユニット化が完成し小学生以上のこどもは原則として個室で生活できる環境を整えた
一人ひとりが自分の時間や空間を持てる環境を整えプライバシーの確保に努めている
③職員は記録や情報共有における個人情報の取扱いについて確認し規程にもとづいて適切に管理している

（２）　養育・支援の実施に関する説明と同意（自己決定）が適切に行われている。

①	30　こどもや保護者等に対して養育・支援の利用に必要な情報を積極的に提供している。	a

【コメント】

①児童相談所と連携し入所前に施設見学の機会を設けている
資料を用いて施設での生活の流れ・約束事・養育環境など説明しこどもが入所後の生活を具体的にイメージできるよう努めている
②見学時にはこどもの話を丁寧に聞き抱えている不安や疑問を受け止め職員は一つひとつの質問に分かりやすく答えるよう努めている
③保護者には面談・面会・定期的な連絡を通してこどもの生活や成長の様子を具体的なエピソードと共に伝えている
家庭の状況や保護者の思いも丁寧に聞き取り養育・支援に反映するよう努めている
④ホームページやSNSを活用し施設の取組やこどもの日常生活の様子を発信している

②	31　養育・支援の開始・過程においてこどもや保護者等にわかりやすく説明している。	a

【コメント】

①ガイドラインに入所時・入所中・退所前・退所後の各段階における養育・支援の内容や留意点を示している
入所前はこどもの状況に合わせて職員が複数回面会し今後の生活をイメージできるよう伝えている
説明の際はこどもの状況・理解度に合わせて優先して伝える内容を整理し養育・支援の内容について理解と同意を得るよう努めている
②養育・支援を進める際はこどもの意見や希望を丁寧に聞き自己決定を尊重するよう努めている
職員はこどもの自立に向けた目標やなりたい姿を思い描けるよう実現するための方法を共に考えている
③職員は面会・定期的な連絡・外泊時などにこどもの様子や支援の状況を保護者へ伝えている
あわせて保護者の話を丁寧に聞き家庭の状況や思いを養育・支援に反映するよう努めている

③	32　養育・支援の内容や措置変更、地域・家庭への移行等にあたり養育・支援の継続性に配慮した対応を行っている。	a

【コメント】

①措置変更の際は児童相談所を介してこどもの支援状況を書面にまとめ措置変更先の施設担当者へ引き継いでいる
書面では問題となった行動や支援上の課題が中心になりやすいため口頭で補足しこどもの良さ・得意なこと・安心しやすい関わり方・これまで積み重ねてきた支援の経過なども丁寧に伝えている
措置変更後も必要に応じて連絡を受け具体的な生活場面や支援上の留意点を交えた説明に努めている
②措置変更にあたっては児童相談所と事前にこどもへの伝え方を話し合っている
「なぜ生活の場が変わるのか」をこどもが理解できるよう年齢・発達・個々の状況に合わせて説明し不安の軽減に努めている
③家庭復帰の際は児童相談所と相談しこどもや保護者の様子を確認している
面会・外出・外泊などを段階的に進めこどもと保護者が生活の見通しを持てるよう支援に努めている
家庭復帰後の生活が急な変化とならないよう児童相談所と情報を共有している

（３）　こどもの満足の向上に努めている。

		第三者評価結果
①	33　こどもの満足の向上を目的とする仕組みを整備し、取組を行っている。	a

【コメント】

①職員は日頃からこどもの声をまず聞き思いを受け止めることを大切にしている
こどもが話したい時には一対一で話を聞き思いや希望を確認し共に考えるように努めている
②自立支援計画の作成時は施設での生活や学校生活や進路などについて改めてこどもの意見を聞き、上手くいかないことや困りごとはこどもと一緒に整理し今後の見通しを持ちながら日々の生活を充実させられるよう養育・支援に努めている
③こどもが自由に意見を出せるよう各ユニットで「話そう会」を月1回実施している
こども同士で希望や意見を出し合い互いの考えを知りながら折り合いをつける機会としている
「話そう会」の意見は会議等で共有し生活上の取組や食事の内容など施設運営に反映するよう努めている
④調理担当職員や心理職員は夕方から各ユニットに入り日常の生活場面でこどもの話を聞くよう努めている
食事に関する嗜好調査などのアンケートも行いこどもの希望や意向の把握に努めている
調理担当職員は苦手な食材や好き嫌いをこどもに聞きドレッシングなど身近にあるもので味を変えることを提案している
夜お腹がすいたこどもには冷蔵庫にある食材を活用し一緒に作り家庭で過ごすような温かさを感じられる支援に努めている

（４）　こどもが意見等を述べやすい体制が確保されている。

①	34　苦情解決の仕組みが確立しており、周知・機能している。	a

【コメント】

①苦情解決委員会と第三者委員会を設置し苦情受付担当者や苦情解決責任者を定めている
受け付けた苦情を適切に確認し解決に向けて対応できる体制を整えている
②意見箱を設置しこどもや保護者等がいつでも意見を出せる体制を整えている
直接職員に話しにくい場合にも意見を出せる体制を整えている

②	35　こどもが相談や意見を述べやすい環境を整備し、こども等に周知している。	b

【コメント】

①職員は日頃からこどもの話をまず聞き思いを受け止めることに努めこどもが相談や意見を伝えやすい雰囲気を作っている
②第三者委員の連絡先を写真付きで掲示・外部の相談機関について案内し施設以外にも相談できる場所があることを伝えている
③説明に関してユニット間でのバラツキが見られます
今後はどのユニットでも確実に説明されることを期待します

③	36　こどもからの相談や意見に対して、組織的かつ迅速に対応している。	a

【コメント】

①こどもから相談や意見があった際はユニット内で実現できることと難しいことを整理している
実現できることについては速やかに対応するよう努めている
②ユニットのこどもに共通する内容は「話そう会」等で話し合っている
こども同士が互いの希望や考えを伝え合い折り合いをつけながら生活上のルールを決められるよう支援している
実現が難しい意見についてはその理由や検討した内容を伝えている
④施設全体に関わる相談や意見は速やかに会議にあげ全体で対応方法を検討している
検討した結果は早急に職員で共有し養育・支援や施設運営に反映するよう努めている

（５）　安心・安全な養育・支援の実施のための組織的な取組が行われている。	第三者評価結果
①　37　安心・安全な養育・支援の実施を目的とするリスクマネジメント体制が構築されている。	a

【コメント】

①事業計画に事故・性的問題発生時の対応フローチャートを明示している
年度初めの会議で職員へ説明・共有し緊急時の対応を確認している
②職員は施錠など安全管理に関するルールを徹底し安全な環境を維持できるよう努めている
③ICTを活用しヒヤリハット・アクシデントの内容を職員が随時確認できるようにしている
日々のアクシデントについては各ユニット会議で分析・検証を行い再発防止に努めている
④必要に応じてユニットリーダー会議で共有・検証したものを改めて各ユニットで共有し予防に努めている
⑤重大な事案が発生した際は全体研修や外部講師による研修を実施する体制を整えている

②　38　感染症の予防や発生時におけるこどもの安全確保のための体制を整備し、取組を行っている。	a

【コメント】

①感染拡大防止に関するガイドラインを整備し職員が共通した対応を行える体制を整えている
②事業計画に施設における感染の定義を示し「感染した場合」「感染が疑われる者となった場合」「濃厚接触者となった場合」「感染が疑われる者との濃厚接触が疑われる場合」についてそれぞれの対応を明確に定めている
感染拡大を防ぐためのゾーニングや職員が感染した場合の対応も示し職員によって判断や対応に差が生じないようにしている
年度初めの職員会議で内容を周知し職員間で共有している
③行政からの通知や感染症の流行状況を確認し日頃から感染予防に努めている
感染症が発生した際は動線を整理し必要に応じて空き室や医務室を活用するなどこどもの安全確保と感染拡大の防止に努めている
④年1回外部講師を招いた感染症対策の研修会を実施している
最新の情報を学ぶとともに基本的な予防方法や発生時の対応を繰り返し確認し職員への定着に努めている

③　39　災害時におけるこどもの安全確保のための取組を組織的に行っている。	a

【コメント】

①マニュアルを整備し防災・防犯委員会を設置し災害発生時にこどもの安全を確保するための役割や対応体制を定めている
②年間防災計画を策定し毎月さまざまな災害や発生場面を想定した訓練を実施している
訓練にはこどもも参加し職員とともに避難経路や災害時の行動を確認している
また職員が少ないことを前提にした夜間訓練も行っている
③屋外に専用の備蓄倉庫を設置し建物に「災害用倉庫」と大きく表示している
災害時に応援に入る関係者など施設の職員以外の人にも保管場所・内容が一目でわかり必要な物品を速やかに取り出せるよう整備している
日常的に使用する食材は調理室前に多めに保管し災害時にも食事を提供できるよう備えている
④事務所には火災受信機や非常通報装置を設置している
火災や不審者の侵入などが発生した際に状況を把握し速やかに外部へ通報できる設備を整えている
⑤本年５月に改装が終了し新たなBCPを作成中である

２　養育・支援の質の確保

（１）　養育・支援の標準的な実施方法が確立している。	第三者評価結果
①　40　養育・支援について標準的な実施方法が文書化され養育・支援が実施されている。	a

【コメント】

①事業計画に養育・支援に関する基本的な考え方や対応は「ファミリーソーシャルガイドライン」「こどもの権利擁護ガイドライン」「個人情報保護規程」「災害マニュアル」等に示している
毎年度の事業計画にもその年度に重点的に取り組む内容を掲載し職員への周知に努めている

②	41　標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。	a

【コメント】

①「ファミリーソーシャルガイドライン」「こどもの権利擁護ガイドライン」は養育・支援の評価や職員の意見をもとに毎年度末に見直している
施設の実態や課題を反映し日々の養育・支援に活用できる内容となるよう努めている
②各規程は法令や制度の改正及び施設の状況の変化に応じて随時改訂している

（２）　適切なアセスメントにより自立支援計画が策定されている。

①	42　アセスメントにもとづく個別的な自立支援計画を適切に策定している。	a

【コメント】

①担当職員は前年度の自立支援計画の評価や日常生活の記録をもとにこどもの状況や課題を整理し計画を策定している
こどもとの面談で生活や進路に関する希望や意向を確認し保護者の意見・児童相談所のアセスメント・医師の診断・心理士の見立てなど総合的に自立支援計画の原案を作成している
②作成した原案はユニット内の複数の職員で検討しこどもの状況や必要な支援を確認したうえで計画を策定している
③自立支援計画を検討する過程では経験のある職員が養育・支援の考え方や目標を設定する意味や記載方法について助言している
④支援が困難なケースについては心理士も加わりユニット全体でこどもの状況や支援上の課題を検討している
外部スーパーバイザーへ月1回の相談会で専門的な助言を受け支援方針や具体的な対応を検討している

②	43　定期的に自立支援計画の評価・見直しを行っている。	b

【コメント】

①自立支援計画はユニット内でこどもの状況や支援の経過について意見交換し担当職員がその内容をもとに計画の評価・見直しを行っている
②実施期間中であっても緊急性のある事柄やこどものニーズや課題に変化が生じた場合はその都度計画を見直し必要な支援へ速やかに変更するよう努めている
③今後は自立支援計画の評価と見直しを施設として実施する仕組みを整えることを期待します

（３）　養育・支援の実施の記録が適切に行われている。

①	44　こどもに関する養育・支援の実施状況の記録が適切に行われ、職員間で共有化されている。	a

【コメント】

①ICTを活用しこどもに関する自立支援計画・児童台帳・個別記録・予定と対応職員・受診記録・支援記録・検討会議録・引継ぎ事項などを一元的に管理している
職員はこどもの状況や支援の経過をタイムリーに共有できるよう整っている
②記録する内容や書き方については経験のある職員が助言し支援の経過や判断の根拠が伝わる記録となるよう努めている

②	45　こどもに関する記録の管理体制が確立している。	a

【コメント】

①個人情報保護方針を定めこどもに関する記録を適切に管理するための取扱いを職員に周知している
②手書きの記録や関係書類は施錠できる専用の部屋に保管し鍵付き書庫で管理している
パソコンで管理するデータにはセキュリティソフトを導入し不正なアクセスや情報の流出を防ぐための対策を講じている

内容評価基準（24項目）

Ａ－１　こどもの権利擁護、最善の利益に向けた養育・支援

（１）　こどもの権利擁護		第三者評価結果
①	A1　こどもの権利擁護に関する取組が徹底されている。	a

【コメント】

①「こどもの権利擁護ガイドライン」を策定しこどもの権利を守るために職員が大切にする考え方や具体的な対応を示している
②「こどもを尊重した支援を行うために職員が身につける専門的な知識やスキルに関する８つの領域」を示している
また事業計画に「児童の権利に関する条約」「こども基本法」「埼玉県こども・若者計画」「施設倫理綱領」を掲載し年度初めに全職員で内容を確認しこどもの権利を尊重した養育・支援について共通理解を深めるよう努めている
③外部講師を招いた権利擁護研修を年4回実施し職員は自らを振返っている
④職員は権利擁護に関する自己評価を年2回行い支援を振り返っている

（２）　権利について理解を促す取組		
①	A2　こどもに対し、自他の権利について正しい理解を促す取組を実施している。	a

【コメント】

①こどもに「こどもの権利ノート」を配布し毎年「話そう会」等で自分が持つ権利について伝えている
こどもの状況に応じて個別に説明する機会も設けている

（３）　生い立ちを振り返る取組		
①	A3　こどもの発達状況に応じ、職員と一緒に生い立ちを振り返る取組を行っている。	a

【コメント】

①児童相談所と情報を共有し一人ひとりの発達や理解の状況に応じて生い立ちを振り返る機会を設けている
児童相談所とこどもへの影響や伝えた後の対応も含めて慎重に検討し事前に内容・時期・方法について細かく確認している
②入所時に児童相談所や保護者からこどもの生い立ち・名前の由来などを聞き取り生い立ちを振返る際に込められたた思いなどを伝えられるよう努めている
③生い立ちについて話した後は担当職員がこどもの表情や生活の様子を見守っている
④退所時には施設での写真や成長の記録をまとめたアルバムを作成しこどもが施設で過ごした時間や自らの成長を振り返ることができるよう努めている

（４）　被措置児童等虐待の防止等

①	A4　こどもに対する不適切なかかわりの防止と早期発見に取り組んでいる。	a

【コメント】

①事業計画に小規模化やユニット化に伴う一人勤務の留意点を明示し年度初めの職員会議で不適切なかかわりの防止に向けた注意事項として共有している
②本園・小規模それぞれで権利擁護チェックリストに沿って状況を確認し意見をまとめている
まとめた内容は会議で分析・共有し施設として強化する取組事項を具体的に決め職員が実行できるよう努めている
③職員はチェックリストを用いて年2回支援を振り返っている
各ユニット責任者が内容を確認し必要に応じて助言や説明している
④性教育委員会は適切な距離感についての資料を作成している
　Ⓐこども同士が適切な距離を保つよう定めている
　Ⓑ職員とこどもの距離感は場面ごとに載せ各ユニットで支援している
具体的にはスキンシップ・抱っこ・おんぶは年長児までを目安とし小学生以上には腕一本分の距離をとる、居室へ入室する際はノック・声掛け・ドアを開けるが示されている

（５）　支援の継続性とアフターケア

①	A5　こどものそれまでの生活とのつながりを重視し、不安の軽減を図りながら移行期の支援を行っている。	a

【コメント】

①入所時において職員は新しい生活に不安を抱えるこどもの気持ちに寄り添い温かく迎えられるよう努めている
ケーキやジュースを準備し温かく迎え入れるよう努めている
また好きなものや好きなことを事前に把握し自分の居場所があるように感じられるよう努めている
②入所直後はこどもの表情や生活の様子を丁寧に見守り積極的に話しかけている
③職員はユニットを移動したこどもに対し移動前の担当職員が定期的に会いに行くなど落ち着くまで見守っている
移動前の生活の様子や支援上の留意点について丁寧に申し送りを行い新しいユニットでも継続した支援ができるよう努めている

②	A6　こどもが安定した社会生活を送ることができるようリービングケアと退所後の支援に積極的に取り組んでいる。	a

【コメント】

Ａ－２　養育・支援の質の確保

（１）　養育・支援の基本

		第三者評価結果
①	A7　こどもを理解し、こどもが表出する感情や言動をしっかり受け止めている。	a

【コメント】

①ユニット会議・ユニットリーダー会議・性教育委員会・新人勉強会などで複数の職員がこどもの言動の背景にある思いや状況を理解しようと話し合っている
心理士はこどもの言動の背景や気持ちの受け止め方について助言しこども理解を深めるための専門的な視点を伝えている
②職員はこどものありのままの姿を受けとめこどもが安心して気持ちを表せる関係づくりを大切にしている
また心理士に相談・記録の確認をするなどこどもの思いや状況をより理解し表出する感情や言動を受け止められるよう努めている
③こども理解するために「勉強会の機会をもっと多くしてほしい」という積極的な職員が見られた

②	A8　基本的欲求の充足が、こどもと共に日常生活をいとなむことを通してなされるよう養育・支援している。	a

【コメント】

①各ユニットは職員を固定し密に関われる体制を整えている
また職員はこどもからの声を真摯に受け止めている
②職員はトラブルがあった時は十分に話を聞き気持ちや背景にある思いを受け止め安心して感情を表せられるよう支援している
⑤生活上のルールは「話そう会」でこどもの意見を聞き自分たちの生活を自分たちで考えルールを守れるよう支援している
⑥職員は通院や買い物など個別外出の機会にこどもの思いを受け止め信頼関係を深められるよう努めている

③	A9　こどもの力を信じて見守るという姿勢を大切にし、こども自身が自らの生活を主体的に考え、営むことができるよう支援している。	a

【コメント】

①こどもが希望することや望んでいることを実現するために何が必要かをこどもと一緒に考えている
こども自身が方法を選び行動できるよう支援に努めている
②こどもが達成したことは一緒に喜んでいる
③うまくいかなかった時はすぐに答えを示すのではなくやり直す方法や続けるために必要なことをこどもと一緒に考えている
職員はこどもが試行錯誤を重ね自ら考え行動できるよう見守り支援に努めている

④	A10　発達の状況に応じた学びや遊びの場を保障している。	a

【コメント】

①各ユニット前には芝生の庭と屋根付きテラスを整備している
こどもは芝生に寝転んだり身体を動かしたりしながら年齢や興味に応じた過ごし方ができるようにしている
屋根付きテラスは雨の時にも遊べる場となっている
②地域交流スペースではカラオケを楽しむことができ友だちや職員と一緒に身体を動かしたり好きな歌を歌ったりできる場となっている
ゲーム機は個人で所有するものに加え各ユニットに1台用意している
③こどもの希望に応じて虫や魚を飼育している
④青年会議所の協力による仕事体験を実施しこどもがさまざまな職業や地域の大人と出会う機会を設けている
実際に仕事の一部を体験することで働くことへの関心を広げ将来について考えるきっかけとなるよう努めている
⑤ボランティアによるパソコンクラブを実施しこどもがパソコンの基本操作や活用方法を学べる機会を設けている
こどもの興味や得意なことを広げ学ぶ楽しさやできることが増える喜びを感じられるよう支援に努めている
⑥夏にはユニットごとに外出しキャンプなど自然の中でさまざまな体験ができる機会を設けている
日常とは異なる環境でこども同士が協力し合い自分で考えて行動する経験を重ねている

⑤	A11　生活のいとなみを通して、基本的生活習慣を確立するとともに、社会常識及び社会規範、様々な生活技術が習得できるよう養育・支援している。	a

【コメント】

①各ユニットの「話そう会」ではこどもたちが自分たちで生活しやすい環境にするために必要なルールや決まりを考えている
職員は決まりを一方的に伝えるのではなく社会生活の中で必要となる理由をこどもの年齢や理解の状況に合わせ説明している
こどもたちが自分たちで決めたことは自分たちで守れるよう支援している
②少人数での外食の機会を設け店内での過ごし方や注文の仕方などを経験できるようにしている
公共の場で周囲の人に配慮することや場面に応じた体験を通して社会性を身につけられるよう支援している
年長のこどもはチャイルドシートの着脱を手伝う・自然に手をつなぐなど年下のこどもを気遣うことができるようになっている
これは日々の生活の中で助け合いが身についていることが見られる
③地域交流や体験活動に加え企業からの招待による外出の機会がありこども自身がさまざまな人や場所との関わりを体験しながら挨拶や公共の場でのルールを身につけられるよう支援している

（２）　食生活

①	A12　おいしく楽しみながら食事ができるように工夫している。	a

【コメント】

①食事は各ユニットのリビングでこどもと養育支援担当職員・調理担当職員や心理担当職員が食卓を囲み家庭のように会話をしながらしている
②調理担当職員は年1回の嗜好調査に加え給食会議や職員の所見からこどもの好みや食事の様子を確認している
また日頃からこどもに直接感想や希望を聞き献立や調理方法に反映できるよう努めている
③各ユニットで担当職員が調理する日を週1回設けこどもは調理の様子を間近で見たり手伝っている

＜小規模＞
①こどもと一緒にスーパーへ買物に出かけ食材を選んだり実際に調理したりする機会を設けている
食材や価格を見て選ぶことや料理を作ることを通して日常生活に必要な知識や力を身につけられるよう支援している

（３）　衣生活

①	A13　衣類が十分に確保され、こどもが衣習慣を習得し、衣服を通じて適切に自己表現できるように支援している。	a

【コメント】

①衣類は毎日洗濯しこどもは清潔な衣類を身につけている
大型の乾燥機を設置している
衣替えの時期にはこども自ら整理し足りないものを確認している
②こどもの年齢や発達の状況に応じて洗濯や衣類の整理を自分で行えるようスモールステップで支援している
③こどもが自分の好みに合った衣類を選び自分らしさを表現できるよう支援している
職員は天候・季節・場面に合った服装を助言し身だしなみを自分で整える習慣が身につくよう支援している
④昨年度は衣料品メーカーによるボランティアを受け入れこどもがコーディネートのアドバイスを受けるなど普段自分では選ばない服に挑戦やファッションショーに参加し衣服による新たな自己表現の機会となった
⑤小学生以上のこどもは職員が一緒に買物へ出かけ本人の好みや希望に合った衣類を選べるようにしている
⑥小遣いで通信販売を利用する際は職員が一緒に手続きをし安全に購入できるよう学びながら支援している
衣類の選び方・購入方法・金銭の使い方を経験し自立に向けて必要な力を身につけられるよう努めている

（４）　住生活

①	A14　居室等施設全体がきれいに整美され、安全、安心を感じる場所となるようにこども一人ひとりの居場所を確保している。	a

【コメント】

①全てのユニットを南向きとし前面には手入れの行き届いた芝生の庭を整備している
吹き抜けのリビングや風通しの良い居室を設けこどもが明るく開放的な環境で生活できるようにしている
②小学生以上のこどもには個室を用意している
家具や持ち物の配置はこどもが自分の好みに合わせて考え自分らしく落ち着いて過ごせる居室となっている
③居室はこども自身で清掃や整理整頓を行えるよう職員が声掛けを行っている
身の回りを整え日々の生活習慣として身につくよう支援に努めている
④リビングや廊下などの共用部分は職員が清掃し清潔な環境を保つよう努めている
年末の大掃除はこどもと職員が共にホームをきれいにし年越しをしている

（５）　健康と安全

①	A15　医療機関と連携して一人ひとりのこどもに対する心身の健康を管理するとともに、必要がある場合は適切に対応している。	a

【コメント】

①職員は帰宅後から登校前までの体調・表情・行動の小さな変化を見逃さないよう努めている
気になる様子は朝の申し送りで伝えるとともにICTに記録し職員間で共有している
②必要に応じて医療機関と連携し通院や服薬などこどもの心身の状況に応じた健康管理を行っている
③薬は各ユニット事務所でこども別・服薬時間別に色分けして保管し誤薬や飲み忘れを防ぐよう努めている
④体調の変化や病気が疑われる場合は速やかに医療機関へつなぎ早期の受診と適切な対応に努めている

（６）　性に関する教育

①	A16　こどもの年齢・発達の状況に応じて、他者の性を尊重する心を育てるよう、性についての正しい知識を得る機会を設けている。	b

【コメント】

①各ユニット責任者が中心となり一人ひとりの成長・理解度・生活状況に合わせ個別に対応し自分や他者の身体や気持ちを大切にできるよう支援に努めている
②性教育委員会を設置し性的問題に関するヒヤリハットや事案について検証している
こどもの状況や支援上の課題を確認し再発防止や予防的な関わりにつなげるよう努めている
③今後は現在行っている個別の取組を施設全体で整理・共有し段階に応じたカリキュラムを作成することを期待します

（７）　行動上の問題及び問題状況への対応

①	A17　こどもの暴力・不適応行動などの行動上の問題に対して、適切に対応している。	a

【コメント】

①職員は暴力や暴言の予防の支援を行っている
「話そう会」では相手・周囲・こども自身にどのような影響があるのかを伝えこどもが自分の行動について考えられるよう支援に努めている
何かあった時には職員が話を聞くことを伝え続けこどもが安心して生活できるよう努めている
②不適切な行動を起こしてしまったこどもに対しては行動だけを捉えるのではなくこどもと向き合い話を聞くことを大切にしている
特性やこれまでの経験から感情が高ぶりやすいこどもについては背景にある思いや状況を理解するよう努めている
クールダウンができるまで待ちこども理解しようと努めている
③職員間は引継ぎ時にユニット責任者が中心となりなぜその行動が起きたのかを共有している
会議では行動の背景・こどもの状況・今後の支援内容・職員の対応について検証している
心理士は職員の話からこどもの状況や必要なケアについて共に考えている
こどもも職員も一人で抱え込まないよう関係者で共有し対応している
④対応が難しいケースについては児童相談所のケースワーカー・心理士など関係機関に共有し助言を受けながらこどもに合った対応に努めている

②	A18　施設内のこども間の暴力、いじめ、差別などが生じないよう施設全体で取り組んでいる。	a

【コメント】

①職員は新しいこども・職員が入る時に話そう会などの機会を活用し相手が嫌がることはしないことや互いに安心して過ごすための言葉の使い方・距離感を確認している
また会議ではこども同士の関わりや気になる言動について状況や背景を検証し今後の関わり方を共有している
②威圧的な発言や相手を傷つける言動など不適切な関わりがあった場合は職員がその都度個別に話をしその態度や言葉が相手や周囲に与える影響だけでなく自分自身の信頼や関係にも影響することを伝えている
仲良くなりたかった・遊んでほしかったなど言動の奥にある思いを受け止めたうえでどうすればよかったのかをこども自身が考えられるよう支援に努めている
③心理士は必要に応じてこどもに専門的なセラピーを行っている
また職員に対してこどもの状況や背景の理解・支援方法について助言し日々の支援に活かせるようにしている
④対応が難しい場合は児童相談所などの関係機関にも相談しより良い養育・支援に努めている

（８）　心理的ケア

①	A19　心理的ケアが必要なこどもに対して心理的な支援を行っている。	a

【コメント】

①プレイセラピーやカウンセリングを行うための専用棟を設けこどもが他のこどもの目を気にせず安心して自分の気持ちや体験を表現できる環境を整えている
②心理士が2名が必要なこどものアセスメントをしカウンセリングや心理療法・プレイセラピーを行っている
③心理士はユニット会議に参加し養育・支援担当職員とこどもの状況を細かく共有している
こどもの背景や状況を分析し今後の養育・支援方針を職員とともに検討している
職員がこどもへの関わり方を整理できるよう専門的な視点から助言し日々の養育・支援に活かしてもらえるよう努めている
④外部スーパーバイザーへ月1回相談する機会を設け専門的な助言を受けこどもの理解を深め心理的支援や日常の関わり方を検討している

（９）　学習・進学支援、進路支援等

①	A20　学習環境の整備を行い、学力等に応じた学習支援を行っている。	a

【コメント】

①自室に学習机を設け落ち着いて学習に取り組める環境を整えている
こどもはリビングや自室など自分が取り組みやすい場所を選んで学習している
②こどもの理解度によって日常生活の中でクイズ形式の問題を出しこどもが楽しみながら考えられるよう努めている
③塾の利用を希望するこどもには通塾できるよう支援している
塾で補いきれないことは職員がフォローし学習内容を理解できるよう支援している
必要に応じて大学受験を控えたこどもに対して宿直の時間などを活用し個別に学習を支援している

②	A21　「最善の利益」にかなった進路の自己決定ができるよう支援している。	a

【コメント】

①職員はこどもの希望に合わせて進学・就職・生活・資金面などに関する情報や判断材料を提供し卒業後や退所後の生活を具体的にイメージできるようこどもの理解度に合わせて説明している
メリット・デメリットを一緒に確認しこどもが自分に合った進路を考え自己決定できるよう支援に努めている
②自立支援計画や養育状況報告書作成時にこどもの話を改めて聞き将来像を共有している
こどもが今の自分の状況や希望を整理しこれから何をどのように頑張っていくのかを職員と共に考え共有している
③資金・生活・特性・からだのことなど現実的に考える必要がある内容についてこどもの理解度に合わせて伝えている
④現在まで措置延長の事例はないが退所後5年間は3か月に一度担当者が連絡をとっている
話し相手となるほか生活上の困りごとや不安に応じて相談に乗り細やかな支援を継続している
退所後も一人で抱え込まず必要な時に施設へ相談できる関係を大切にし自立を支えている

＜小規模施設＞
①小規模施設にはさまざまな進路を歩んだ退所者が来訪している
リビングなど日常の生活場面で一緒に過ごしながら実際の生活や進学・就労後の話を聞くことができる機会となっている
身近な先輩と自然に言葉を交わす中で退所後の生活を具体的にイメージし自分の将来を考えるきっかけとなっている

③	A22　職場実習や職場体験、アルバイト等の機会を通して、社会経験の拡大に取り組んでいる。	a

【コメント】

①高校生のアルバイトは本人の希望や特性を踏まえて慎重に判断している
働く経験から社会の仕組みやルールを学び実際に退所後の自立した生活に向けて貯金する機会となるよう支援している
アルバイトを行う際は帰宅時間などのルールを確認し合い生活の安定を図っている
②就職を希望するこどもには本人の希望を聞き学校や関係機関と相談し情報提供やサポートに努めている
必要に応じて普通自動車運転免許の取得は退所前にできるよう支援に努めている
③商工会青年部の協力により施設の敷地内で仕事体験イベントを開催している
こどもがさまざまな仕事を体験し実際に働いている方々から仕事の魅力や必要な力について話を聞ける機会としている
働くことへの関心を広げ社会経験を積む取組となっている

（１０）　施設と家族との信頼関係づくり

①	A23　施設は家族との信頼関係づくりに取り組み、家族からの相談に応じる体制を確立している。	a

【コメント】

①職員は面会・外出・電話連絡・来訪時の機会に施設・学校・保育園などでのこどもの様子や行事予定を家族に伝え情報交換を行い家庭と施設が共にこどもを支えられる関係づくりに努めている
②SNS・機関紙・文集を活用し行事や日々の生活・成長の様子を家族に伝え関係が途切れないよう努めている
③面会・外出・一時帰宅は児童相談所と連携しこどもの状況に合わせて行っている
職員は一時帰宅後のこどもの言動や表情に目を向け安心して過ごせていたかを確認し嬉しかったことや楽しかったことを共有し家族との関わりがこどもの安心につながるよう努めている
④学校行事については児童相談所と確認し保護者の状況に応じて案内している
保護者が一人で参加することが難しい場合は職員が付き添い安心して参加できるよう支援し家族がこどもの成長や学校での様子を知る機会を持てるよう努めている

（１１）　親子関係の再構築支援

①	A24　親子関係の再構築等のために家族への支援に積極的に取り組んでいる。	a

【コメント】

①親子関係の再構築に向けて児童相談所と連携し保護者とこどもの意向や状況を確認し家庭復帰に向けた支援を行っている
自立支援計画をもとに目標と手順を整理し面会・外出・外泊などをこどもや家族の状況に合わせて段階的に進めている
実施にあたっては保護者だけで抱え込まないよう児童相談所と各段階の留意事項を確認しスモールステップで親子関係の再構築に努めている
②職員はこどもの日々の生活や学校での様子・できるようになったこと・面会を楽しみにしていることなどを保護者に具体的に伝え保護者がこどもの状況を把握しこどもへの思いを持ち続けられるよう努めている
③施設にはバス・トイレ・キッチンを備えた生活訓練の部屋があり親子で実際に生活を経験し家庭復帰支える環境を整えている